

いの町史編さん室だより (No.13)

まだまだ暑い日々が続きますがいかがお過ごしでしょうか？ 広報7月号に、いの町史「未来へのメッセージ」の応募用紙を折り込んでいましたが応募いただけましたでしょうか？ 平成26年9月発行予定の「いの町史」に「みらい編」を設け、町民の皆さん及び町出身者からの「未来へのメッセージ」を募集しています。寄せられたメッセージはお名前と共に半永久的に町史に残ります。締切日は9月30日（月）必着です。ふるって応募ください。なお応募用紙が必要な方は社会教育課（☎ 893-2012）まで連絡ください。

それでは、今月のちょっと懐かしい話をどうぞ。

ちょっと昔の話

「学校のシンボル」

編さん委員 高橋 建依

どの学校にも、その校庭や地域に子ども・保護者・先生・地域の人が慣れ親しんできた、言わば、学校のシンボルとも言うべきものがあるのではないかと思います。

例えば、校庭の片隅に植えられている大きな樹木など…。古くから、学校ができて以来ずっと、何も言わないけれど、その下で子どもたちが遊び、運動をしているのを見守ってきたことと思います。夏の暑い盛りには、自然と多くの人々が集まり、しばし汗が乾くのを待ちながら語り合ったことでしょう。いったい何人の子どもの成長を見守り続けてきたのでしょうか。

旧上八川小学校と神谷小中学校の校庭には、見事な白花センダンの木があります。一般的にセンダンの花は藤色で、これも美しいのですが、白花の持つ涼しさは別格です。初夏に咲き、その下を日傘をさして通る人の姿は暑さの中にも一服の清涼さを感じさせてくれるのです。



旧上八川小学校の白花センダン



神谷小中学校の白花センダン(左)とセンダン



伊野小学校の藤棚

伊野小学校の校庭には、2つの大きな藤棚があります。校舎に近い方の藤は、なんと、明治初期、伊野小学校が創設されたころからあるものです。その南にあるもう1つのものは古い藤を移植して育てた、言わばその子どもといったものです。両方とも5月ごろには満開の藤の花を咲かせてくれます。毎年、愛校作業では、四方に伸びた枝を刈り取るのに一苦労だそうです。

シャクジョウカシと呼ばれるヤブツバキの大木は、旧上東小学校のすぐ近くにあり、長年に渡って児童のみならず地域の人々の心の支えとなってきたことでしょう。学校休校後も、毎春、町内外から多くの人々がこの樹の下に集まって、「タカシの花祭り」としてスティールパンの演奏などと共にその美しさを楽しんでいます。

本川地区では、本川中学校の玄関付近に2本の桜の木があり、高地の寒い冬を越し、毎年5月ごろに満開になるそうです。長沢小学校の運動場の片隅にも桜の木があり、新年度に慣れたころに子どもたちが元気よく活動する様子を見守っているのです。

樹木の他にも、こういった存在がどの学校にも必ずや校内や学校付近にあることでしょう。これらは、単に一つの「もの」というより、学校と地域の人々の心の中に生き続け、お互いに心と心をつなげていることでしょう。いつでも、どこにいても心の中に甦ってくる心のよりどころみたいなものだと思います。大きく言えば、こういったことも教育の一環だと言えるのかも知れません。



長沢小学校の桜

問い合わせ・連絡先

社会教育課 町史編さん室（内線 31）

☎ 893-2012 FAX 893-2013

いろんな情報
をお待ちして
います。



内科

外科

小児科

循環器内科

消化器内科

リハビリテーション科

人工透析

有料広告

医療法人 森木病院
光生会

院長 森木 光司

吾川郡いの町3674 TEL (088) 893-0014